



仕入先様への責任

仕入先様と方針・目標を共有し、オープンでフェアな取引きに努めています。

● 矢崎グローバル仕入先総会の開催

矢崎グローバル仕入先総会は、原材料、電子、計器、ワイヤーハーネス部品の仕入先様と双方向のコミュニケーションを通じて、調達方針や課題を共有するために、毎年1回開催しています。

2015年7月の総会では、国内外162社の仕入先様にご参加いただきました。当日はまず矢崎社長から、矢崎グループの中期経営計画における基礎づくりの年として、技術面や生産面などの重点施策について説明いたしました。次に調達本部長から矢崎総業調達方針を説明し、グローバル体制に基づく調達部門の位置づけと安全、品質、環境をベースとした「コスト競争力」「サプライチェーンコントロールセンター」「ものづくり」の追求について情報共有しました。

また同日、仕入先様との相互協力をさらに推進するため、「矢崎“グローバル現場力”強化」をテーマに、技術交流会を開催しました。交流会では、仕入先様から矢崎グループの部品事業競争力の強化に向けたご提案をいただくとともに、矢崎グループからは「グローバル現場力の強化に向けた方向性と活動事例」を紹介しました。さらに本交流会は、仕入先様同士の意見交換の場としても有効にご活用いただきました。

今後も仕入先様と連携し、環境の変化に即応したもののづくりと共存共栄をめざし、グローバルパートナーシップの強化に努めます。



矢崎グローバル仕入先総会の様子(左/矢崎社長、右/加藤調達本部長)

● 紛争鉱物調査説明会の開催

近年、コンゴ民主共和国とその周辺地域で採掘される鉱物資源が、強制労働・児童労働などの非人道的行為を繰り返す武装勢力の資金源となっている可能性が懸念されています。

そのため米国では、金融規制改革法(ドッド・フランク法)により、「タンタル」「錫」「金」「タングステン」を紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)と定義し、米国上場企業に対し紛争鉱物の利用状況を年次報告にて情報開示するよう義務づけています。

矢崎グループは、社会的な責任を果たすとともに、自動車メーカーをはじめとするお客様からの依頼に対応するため、サプライチェーンを遡って紛争鉱物調査を実施しています。2016年5月には紛争鉱物調査説明会を開催し、149社の仕入先様にご参加いただきました。説明会では、調査票の変更点や調査においてご留意いただきたい点などを中心に、調査へのご理解とご協力をお願いしました。

今後も仕入先様と一層の連携を図りながら、コンフリクトフリーな原材料調達を推進していきます。



紛争鉱物調査説明会の様子

● 品質管理基準書説明会の開催

「仕入先様のための品質管理基準書」の改訂にともない、2016年4月に静岡県菊川市で品質管理基準書説明会を開催しました。説明会では改訂にともなう変更点について、品質マネジメント、製造工程管理、生産準備、環境負荷物質管理の4本の柱を中心に説明しました。なかでも製品含有化学物質の管理については、「サイレントチェンジ」を回避するための管理方法について説明しました。

今後も引き続き、仕入先様と連携しながら品質向上に努めていきます。



品質管理基準書説明会の様子